

脳神経外科に通院中、あるいは過去に通院された患者さんとご家族の方へ
（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療後の残余検体と診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とした生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 硫酸化糖鎖形成が神経膠腫の病態と臨床経過に与える影響の検討

《共同研究の代表機関名・研究代表者》 関西医科大学脳神経外科学講座 診療教授 埜中正博

《研究の目的》 当院に通院中の膠芽腫を含む神経膠腫の患者さんを対象として、摘出後の腫瘍にどの程度硫酸化糖鎖が発現しているのか、また予後（治療後、あるいは経過を観察した後どのようになったのか）との関連について調査を行い、硫酸化糖鎖を標的とした薬の開発に結び付けることでより多くの患者さんたちの診療に役立たせていただこうと考えています。

《研究期間》 研究許可日～2026年2月28日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

膠芽腫・悪性神経膠腫を有する患者さんで、2006年1月7日から2022年2月28日に関西医科大学附属病院脳神経外科にて摘出手術を受けた患者さん。

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：診断名、年齢、性別、身体所見、既往歴、家族歴、術前後の症状、治療方法、治療時期、手術時期、手術方法、手術時の所見、術後の治療法、直近の受診時の状態、各種検査結果（CT、MRI、その他画像検査、血液検査の結果、機能予後、認知機能の結果等）

試料：手術で摘出した腫瘍組織

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

お預かりした検体や診療情報等には匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

《外部への試料・情報の提供》

研究代表者へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

《研究組織》

【研究代表者】

関西医科大学 脳神経外科学講座・診療教授 氏名 埜中正博

【研究責任者】

福井大学医学部腫瘍病理学（病理学1）研究室・教授 小林基弘

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学 脳神経外科学講座

〒573-1010 大阪府枚方市新町 2-5-1

脳神経外科 医局 072-804-2776

FAX 072-804-2502

研究責任者：脳神経外科学講座 診療教授 埜中正博